



# 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

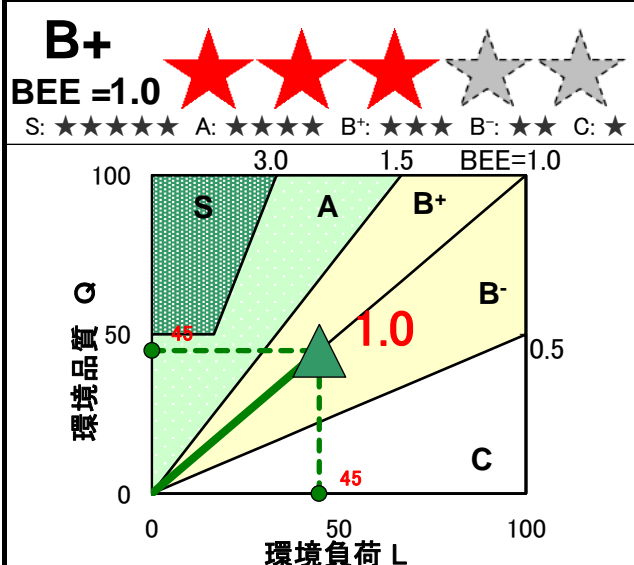
## 1-1 建物概要

建物名称	春日出中学校屋体棟増築その他工事	
建設地	此花区春日出南1丁目	
建築用途	中学校	
建築主	大阪市長	
設計者	大阪市都市整備局	
敷地面積	9,536.07	m <sup>2</sup>
建築面積	849.11	m <sup>2</sup>
延床面積	1,776.92	m <sup>2</sup>
構造/階数	RC造	/ 地上4階
完了年(予定)	2026年9月	

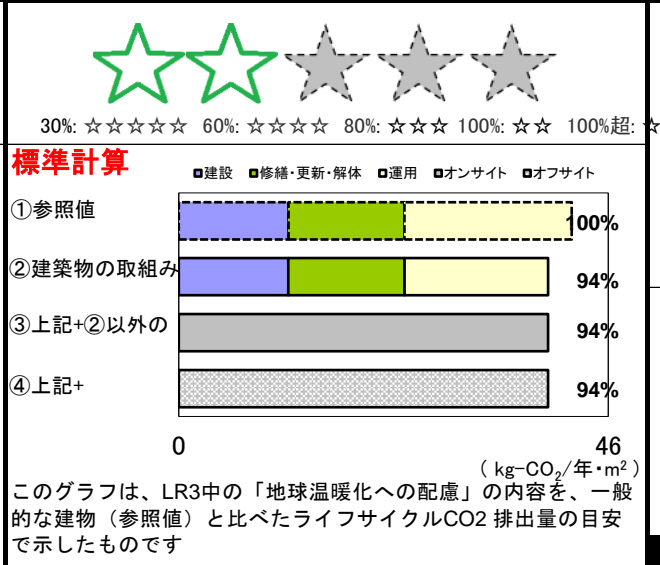
## 1-2 外観



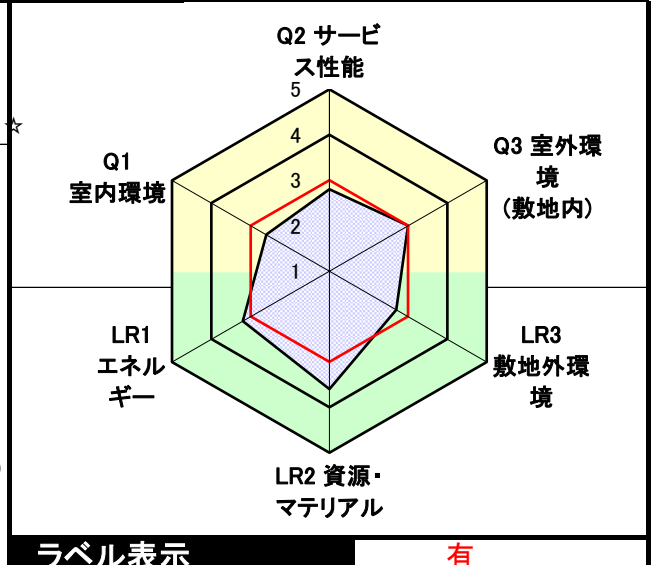
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



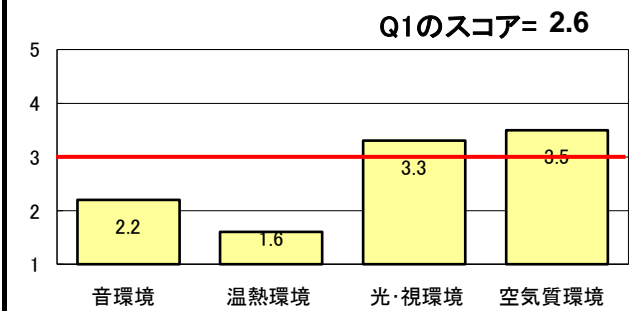
## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



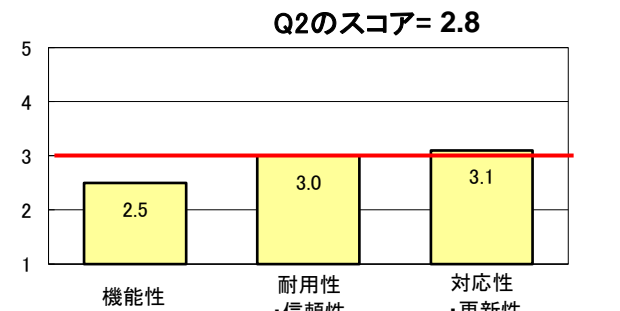
## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

### Q 環境品質

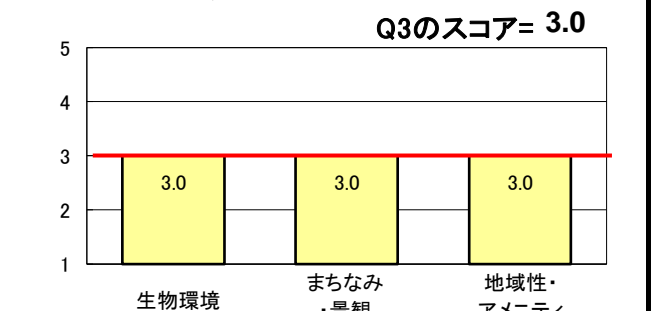
#### Q1 室内環境



#### Q2 サービス性能

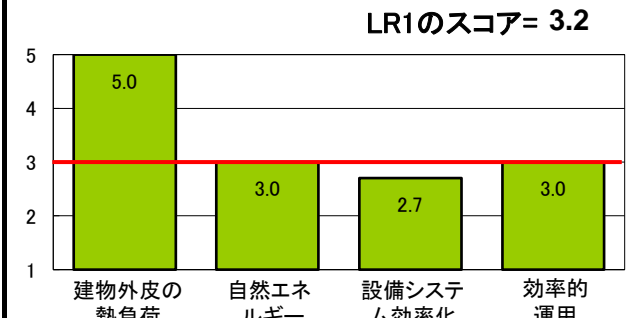


#### Q3 室外環境(敷地内)

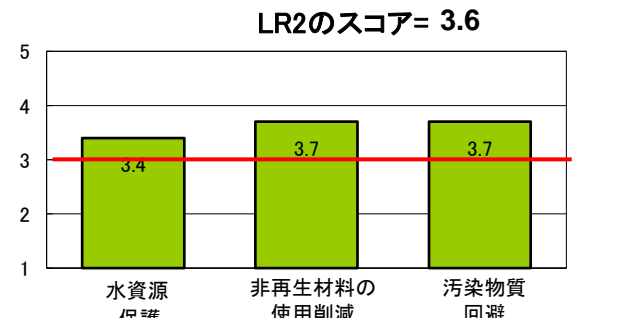


### LR 環境負荷低減性

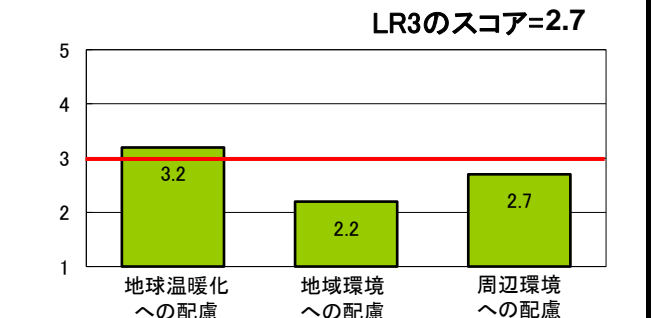
#### LR1 エネルギー



#### LR2 資源・マテリアル



#### LR3 敷地外環境



## 3 設計上の配慮事項

### 総合

体育館と武道場・体育倉庫の増築(実質建て替え)に際し、1階を武道場とし2階以降を体育館とした。1階は武道場と体育倉庫以外の部分はピロティとし、日陰の形成や雨天時の利用に配慮した。体育館の空調設備は既存体育館空調設備を移設することにより、環境に配慮した。

### その他

掘削に伴う建設発生土は再利用できるものは埋め戻しに再利用し、場外搬出並びに処分を行う建設発生土の削減に配慮している。

### Q1 室内環境

講堂兼体育館は南北の2面に窓を大きく取り、採光に配慮する。また、ホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量の少ない建材を全面的に使用し、室内空気質が健全に保たれるよう配慮する。

### Q2 サービス性能

内外装材は防汚性や耐候性の高い仕上とし、加えて外壁には水切りを設ける等の工夫により壁面の汚れ対策とする。また、清掃用具入や清掃用流し、清掃作業を想定したコンセント等を設け、建物の維持管理に配慮する。

### Q3 室外環境(敷地内)

建物の高さや形状、色彩計画については周辺環境との調和を図りながら、植栽計画も含め良好な景観を形成する。特に、隣接する春日出公園からの視点を重視し、増築棟と既設棟とが調和した景観を形成するよう配慮する。

### LR1 エネルギー

室の2面が外皮等に面することで有効な採光・通風を確保することができ、加えて下部に手動開閉の腰窓を設けることにより、さらに換気効果を促進させ自然エネルギーの積極的な活用を図る。

### LR2 資源・マテリアル

解体時のリサイクルを促進するため、躯体と下地・仕上げとが容易に分別できるような納まりとする。また、給水設備については節水コマや節水型の器具等を採用することで水資源の保護に配慮する。

### LR3 敷地外環境

校庭を囲むように校舎を配置することで、校庭からの砂塵が周辺に飛散することを抑制するための配慮としている。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.2
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	3.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	2.7
配慮事項	特になし	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること  
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）  
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI <sub>m</sub> ]	
	- (相当)	0.80	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI <sub>m</sub> ]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI <sub>m</sub> ]
	0.86	-	0.86